

# ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

## 第7回定例会(令和2年9月定例会)

令和元年度決算	2	一般質問(4人)	10
決算特別委員会	4	議員インタビュー	14
第5回臨時会	6	議員活動報告・編集後記	16
第6回臨時会・第7回定例会	7		

議会広報  
令和2年10月  
第37号

## 朝日をバックにした五戸の美しい田園風景



今年の作柄状況は、気温と日照時間が平年を上回ったことなどから、穂数・全もみ数が多く「やや良」となる見通し。

# 令和元年度決算

## <財源構成>

自主財源 23.9% (町税など)	依存財源 76.1% (地方交付税など)
-------------------------	----------------------------

### 各会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	91億9667万円	90億3278万円	1億6389万円	
特別会計	後期高齢者医療	4億5229万円	4億4943万円	286万円
	国民健康保険	21億6356万円	21億4158万円	2198万円
	介護保険	24億3268万円	22億7999万円	1億5269万円
	下水道事業	3億5402万円	3億5065万円	337万円
	農業集落排水処理施設事業	1億1749万円	1億1679万円	70万円
	簡易水道事業	9640万円	9456万円	184万円
	住宅用地造成事業等	1468万円	1440万円	28万円
	ケーブルテレビ事業	3344万円	3197万円	147万円
病院事業会計	収入	支出	差引	
収益的収支	26億2818万円	26億0499万円	2319万円	
資本的収支	3億6403万円	5億7376万円	△2億0973万円	

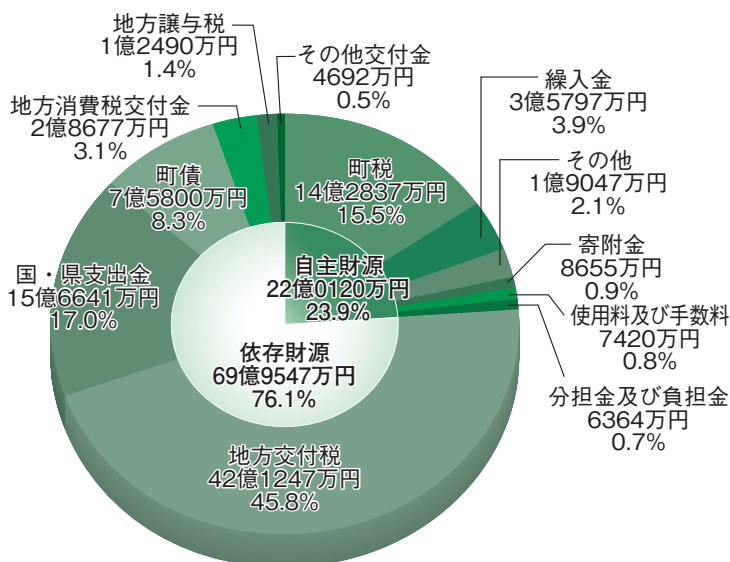
一般会計の自主財源である町税や繰入金などは23・9%となっており、地方交付税や町債などの依存財源が76・1%を占め、町財政の多くが国や県からのお金(交付税・支出金・交付金)と借入金(町債)に頼っています。

### 令和元年度決算状況

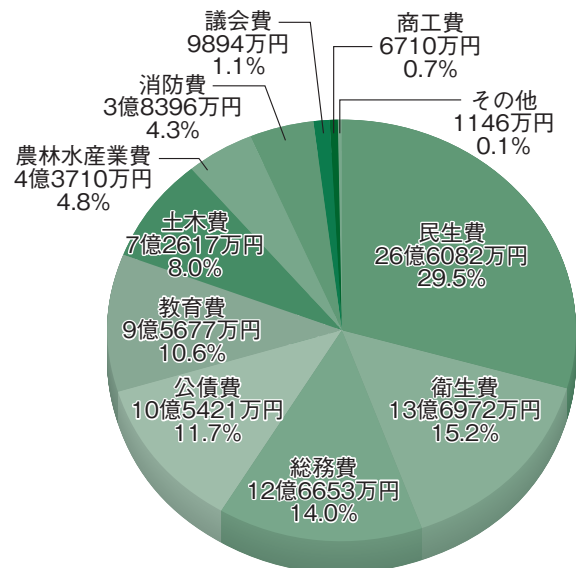
また、歳出の人件費や公債費(借入金返済)などの義務的経費は、歳出全体の39・7%を占め、前年度に比べ9・25万6千円の減額となりました。

## 一般会計決算

### 歳入



### 歳出





## 町税等の未収金の状況

区 分	平成30年度末	令和元年度末	増減額
町税*	8584万円	8431万円	△ 153万円
放課後児童クラブ保護者負担金	5万円	15万円	10万円
給食費保護者負担金	289万円	275万円	△ 14万円
ブドロク放牧場使用料	157万円	131万円	△ 26万円
道路占有料	0万円	1万円	1万円
町営住宅使用料及び共益費	238万円	524万円	286万円
土地貸付料(五戸台地分)	248万円	245万円	△ 3万円
奨学資金償還金	918万円	961万円	43万円
後期高齢者医療保険料	93万円	91万円	△ 2万円
国民健康保険税	1億3034万円	1億2608万円	△ 426万円
介護保険料	436万円	340万円	△ 96万円
下水道受益者負担金・使用料	766万円	814万円	48万円
農業集落排水分担金・使用料	261万円	253万円	△ 8万円
簡易水道使用料	638万円	668万円	30万円
ケーブルテレビ負担金・利用料	84万円	85万円	1万円
<b>合 計</b>	<b>2億5751万円</b>	<b>2億5442万円</b>	<b>△ 309万円</b>

\*町税は、町民税・固定資産税・軽自動車税の合計額  
 ※翌年度繰越分及び未還付額は除く

未収金(滞納)総額

2億5442万円

令和元年度末の不納欠損額は2246万円で前年度に比べ2798万円減額、処分後の未収金は、2億5442万円、町税と国民健康保険税で82・7%を占めています。

不納欠損処分とは

債務者が死亡し相続人もいない場合や、今後も徴収の見込みがたない場合、その金額を消滅させること。

## 町債(借入金)の状況

会 計 名	令和元年度末
一般会計	109億3759万円
下水道事業特別会計	25億2770万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	6億2243万円
簡易水道事業特別会計	1億7595万円
五戸町病院事業会計	21億8234万円
<b>合 計</b>	<b>164億4601万円</b>
町民1人当たり	97万円

町債

町財政の借入金である町債合計は、164億4601万円、前年度に比べて7億6775万円減額となりました。

「借入金町民1人当たり97万円」

基金

一方、貯金である基金合計は、49億5306万円、前年度に比べて4億1480万円増額となりました。

「貯金町民1人当たり29万円」

## 基金(積立金)の状況

基金名	令和元年度末	基金名	令和元年度末
財政調整基金	21億3654万円	地域振興基金	10億0842万円
減債基金(地方債償還のための積立)	6億7445万円	高齢者等肉用牛特別導入事業基金	355万円
土地開発基金	1億4577万円	過疎地域自立促進特別事業基金	9511万円
泉山教育振興基金	57万円	ふるさと納税寄附金基金	8047万円
木村秀政教育振興基金	182万円	森林環境譲与税基金	474万円
公共施設等整備基金	2億0043万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	3億1492万円
まちづくり特別事業基金	35万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	509万円
地域福祉基金	91万円	介護給付費準備基金	1億8773万円
江渡恭助人材育成基金	145万円	下水道整備基金	2534万円
人材育成基金	2094万円	農業集落排水事業減債基金	228万円
肉用牛一貫経営支援基金	626万円	ケーブルテレビ事業基金	3592万円
<b>合 計</b>	<b>49億5306万円</b>		

※現金・貸付金の額(動産・不動産は含まない)

# 決算特別委員会

議員全員で構成する決算特別委員会(委員長：古田陸夫議員、副委員長：大久保和夫議員)を設置し、令和元年度の一般会計決算、特別会計決算及び病院事業会計決算について審議しました。

※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



ふるた りくお 古田 陸夫 委員長

## 決算に対する 主な質疑

### 一般会計歳入

#### 森林環境譲与税

**問** 大沢義之委員

この税はどのように使われたのか。

**答** 中村農林課長

令和元年度は、基金の方に全額積み立てしている。

**問** 大沢義之委員

今後町有林をどのように扱っていくのか。

**答** 中村農林課長

樹齢が経っているの  
で、間伐して計画的に随時販売していきたい。

## 令和元年度ふるさと納税寄附金の活用状況(町ホームページより)

寄附金使途	寄附金活用事業	金額(円)
①しごと ：産業・雇用対策	ものづくり支援事業	290万円
	観光振興整備事業	62万6千円
	特別保証制度保証料補助事業	500万円
	その他1事業	16万5千円
		869万1千円
②ひと ：移住・定住促進対策	移住促進・支援事業	118万4千円
		118万4千円
③ひと ：少子化対策	子育てアパート等入居費助成事業	736万4千円
		736万4千円
④まち ：地域づくり・地域間 連携対策	総務管理費(五戸町防犯灯・商店街街路灯電気料金補助金)	217万3千円
	行政連絡員謝礼	483万5千円
	五戸町省エネルギー型防犯灯設置補助金	343万7千円
	五戸町自治会施設整備費補助金	300万6千円
	豊間内地区コミュニティセンター管理費	122万8千円
	倉石コミュニティセンター管理費	652万3千円
	東京五戸会促進事業	126万2千円
	五戸町まち・ひと・しごと創生会議等事業	295万円
	地域づくり事業	65万円
	石沢駒踊伝承館管理費	109万8千円
	放課後子ども教室推進事業	100万4千円
	町民運動会	56万4千円
	その他7事業	160万3千円
		3,033万3千円
合計		4,757万2千円

※50万円以下の事業については、その他事業として一括で記載している。

※寄附金は、寄附をいただいた翌年度の事業の財源に充当している。

未充当分については、さらに翌年度以降に繰り越して活用する。



五戸町社会福祉協議会

### ふるさと納税寄附金

**問** 豊田孝夫委員

寄附金総額と受け入れた件数は。

**答** 手倉森総合政策課長

寄附金総額は852万8千円で、受け入れ

た件数は6471件である。

**問** 三浦俊哉委員

この寄附金は、どのようなことに活用されているのか。また、寄附された方に対してその報告をしているのか。

**答** 手倉森総合政策課長

寄附金の使途は左の表のとおりである。寄附していただいた方には、これをホームページで公開している旨を文書にてお知らせしている。

### 一般会計歳出

〔民生費〕

#### 町社会福祉協議会 補助金

**問** 大沢義之委員

この財源は。また、社会福祉協議会は国の指示で設けられているが、国からの補助等はあるか。

**答** 高嶋福祉課長

国等からの補助は無く、一般財源となっている。

**問** 大沢義之委員

この補助金が適正に使われているかどうか町で監査等しているか。

**答** 高嶋福祉課長

監査については、定期的に実施している。

### 倉石温泉指定管理料

問 川村浩昭委員

指定管理料の決算額だけでは、入浴料などの事業収入の内訳が分からない。補足資料等で明記するべきでは。

また、旧倉石村民に対してのみ入浴料の割引やバスの送迎があり、町の税金で運営費が賄われているにもかかわらず不公平ではないか。

答 大久保副町長

それらも含めて、現在倉石温泉運営事業検討委員会で審議している中で、もう少し時間をいただきたい。

### 【農林水産業費】

#### 新郷村畜産推進協議会負担金

問 豊田孝夫委員

どういった目的でこの負担金を支出しているのか。

答 中村農林課長

五戸町と新郷村とで合同で運営している協議会

のため負担金を支出しており、肉用牛を審査している。

#### あおもり倉石牛銘柄推進協議会負担金

問 豊田孝夫委員

前述の新郷村畜産推進協議会負担金との違いは。

答 中村農林課長

こちらの協議会は、枝肉となったものを審査しており、資質の向上や銘柄の発展等を目的に負担金を支出している。

### 【消防費】

#### 消防団視察研修業務委託料

問 鈴木隆也委員

どのような内容の研修が行われたのか詳細を教えてください。

答 石田総務課長

昨年女性消防隊が、横浜市で開催された全国女性消防操法大会に出場した。この出場と選手応援のため、(株)みちのりトラベル東北八戸支店にその

手配等を委託したものである。

問 鈴木隆也委員

その応援も兼ねながら、他自治体の消防団統合事例に関する研修も行ったと聞いているが、消防団の統合の進捗状況を分ける範囲で教えてください。

答 石田総務課長

2回行われた消防団統合の会議のうち、1回出席させていただいたが、まだまだ統合に向けた話し合いは進まないのではないかと印象を受けた。

ただし、浅水、豊川及び蛸川地区の3分団については、統合を前に進めたいとのことであったため、モデル地区として一緒に活動してどうかという話し合いをしている。

### 【教育費】

#### 通学路街路灯LED化工事費

問 鈴木隆也委員

こちらについての説明

をお願いしたい。

答 志村教育課長

登下校時の安全対策として、通学路の街路灯のLED化を進めるものである。これは令和5年度までの5か年に計画を分けて行われており、昨年度は五戸ドーム周辺の工事を実施した。

問 鈴木隆也委員

その電気料はどこが負担するのか。

答 志村教育課長

この工事に伴うLED化の電気料は、教育委員会が負担する。

#### 文化教育施設長寿命化計画策定業務委託料

問 鈴木隆也委員

令和2年3月に長寿命化計画が策定されたと聞いている。我々議員も五戸町の教育施設のあり方を共に考えていくべきだと思っている。策定された計画を開示する考えはないか。

答 大久保副町長

当然これは開示して説

明しなければならぬと思っている。今後の町の財政計画も勘案して公表したいと考えており、もう少し時間をいただきたい。

#### 歴史みらいパークコンピュータシステム保守点検業務委託料

問 豊田孝夫委員

このコンピュータシステムは、図書館関係だけなのか、それとも、現在稼働していない木村秀政ホール関係も含めた委託料なのか。

答 志村教育課長

この委託料には木村秀政ホールのものは含まれておらず、図書館の貸し出しシステムの委託料となっている。

### 病院事業会計

#### 収益的収入

問 鈴木隆也委員

看護師不足による入院病床の休床が、事業収益に大きな影響を与えてい

るとのことだが、あと何人いれば休床になった病床を復活できるのか。

答 松坂総合病院事務局長

長期休暇を取得している看護師もいることから、明確に何人というのが、積算するのは難しいが、最低でも10名ぐらいは必要である。

問 鈴木隆也委員

医師、薬剤師及び看護師不足解消のために、学生の段階から支援する取り組みの考えはないか。

答 若宮町長

人口減少の中において、長いスパンで医師、薬剤師及び看護師を育てながら、この地域の医療を守っていくために前向きに検討していきたい。



五戸総合病院



# 第5回 令和2年7月 臨時会

7月28日から1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

## 町長提出案件

### 事業の施行 1件

#### ① 土地改良事業の施行について

##### 【内容】

令和2年7月11日から12日の豪雨により被害を受けた農業用施設の災害復旧事業を行うためのもの

## 審議の結果

### 全員賛成で可決

### 補正予算 1件

#### ① 一般会計補正予算(第4号)

##### ・ 補正額(増額)

5391万1千円

##### ・ 予算総額(補正後)

107億1335万8千円

##### 【主な内容】

・ 農業施設及び道路橋梁  
災害復旧費に係る工事  
請負費等

4301万1千円

## 審議の結果

### 全員賛成で可決

## 令和2年7月11日から12日の豪雨による災害の現地視察

令和2年7月28日、令和2年7月11日から12日の豪雨により被害を受けた農地・農業用施設及び町道の被災状況について、農林課及び建設課からの説明を受けながら現地視察を行いました。



① 檜沢地区の道路の路肩崩落現場  
被災延長 L=16.0m 盛土・法面工



② 町道小渡鳥沼線の道路流出現場  
被災延長 L=15.0m 盛土・法面工



③ 横倉地区の道路の路肩崩落及び水路の土砂堆積現場 被災延長 L=10.0m 盛土・法面工、土砂撤去



# 第6回 令和2年8月 臨時会

8月11日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 5件			
原案可決	同意	承認	認定
5件	0件	0件	0件

## 町長提出案件

### 財産の取得 1件

#### ①管内小中学校タブレット端末の購入

・(株)ビジネスサービス  
八戸支店  
4584万5千円

### 審議の結果

全員賛成で可決

#### 業務委託契約の締結 1件

①管内小中学校情報通信ネットワーク環境整備業務委託  
・(株)文屋  
7528万5千円

### 審議の結果

全員賛成で可決



### 補正予算 3件

#### ①一般会計補正予算(第5号)

・補正額(増額)  
4146万1千円

・予算総額(補正後)  
107億5481万9千円

### 【主な内容】

・災害対策備品

699万2千円

・給食センター備品

405万円

#### ②簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)

936万1千円

・予算総額(補正後)

1億1301万7千円

### 【主な内容】

・水道施設維持管理修繕工事費  
936万1千円

#### ③病院事業会計補正予算(第1号)

・資本的収入

補助金475万9千円

を追加し2億9908

万9千円

・資本的支出

建設改良費475万9

千円を追加し5億45

99万2千円

### 審議の結果

全員賛成で可決

# 第7回 令和2年9月 定例会

9月9日から16日までの8日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 24件			
原案可決	同意	承認	認定
20件	2件	0件	2件

第7回定例会初日の令和2年9月9日に、任期満了に伴う五戸町表彰審議会委員の指名と、五戸町選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われました。

### 【選挙管理補充員】

◎佐々木昭彦氏(67歳)

◎太田博之氏(56歳)

◎畑山拓也氏(65歳)

◎安部真里子氏(51歳)

### 議会選出の表彰審議会委員の指名

◎大沢 義之 議員

◎古田 陸夫 議員

◎鈴木 隆也 議員

### 選挙管理委員及び同補充員の選挙

◎齋藤 正榮 氏(73歳)

◎小泉 壮悦 氏(71歳)

◎種市 聰 氏(79歳)

◎根岸 英治 氏(61歳)

### 町長提出案件

報告 3件

①令和元年度青森県新産業都市建設事業団の決算について

②令和元年度決算に基づく財政の健全化判断比率について

③令和元年度公営企業決算に基づく経営の資本不足比率について(報告は採決しません)

### 規約の変更 1件

①十和田地区環境整備事務組合規約の変更について

・十和田地区環境整備事務組合の解散に伴う



所要の変更を行うもの

**審議の結果**

全員賛成で可決

**事業の施行 1件**

**①土地改良事業の施行について**

**【内容】**

・令和2年7月11日から12日の豪雨により被害を受けた農業用施設の災害復旧事業を行うもの

**【内容】**

・地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

**③五戸町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例**

**【内容】**

・行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部を改正する法律が施行されることに伴い、所要の改正を行うもの

**④五戸町手数料徴収条例の一部を改正する条例**

**【内容】**

・マイナンバー制度に関する通知カードが廃止されたことに伴い、通知カード再交付手数料を廃止し、所要の改正を行うもの

**⑤五戸町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例**

**【内容】**

・令和元年10月からの幼児教育・保育の無償

**②特別災害による被害者に対する町税減免の特別措置に関する条例の一部を改正する条例**

化の開始に伴い改正された特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準に従い、所要の改正を行うもの

**⑥五戸町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例**

・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の改正を行うもの

**⑦五戸町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例**

・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

**⑧五戸町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例**

・青森県ひとり親家庭等

**⑨五戸町重度心身障害者医療費助成事業実施要領の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの**

・起業等奨励金 200万円

**③国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・病院事業会計負担金 2億5759万4千円

**④介護保険特別会計補正予算(第1号)**

・ため池ハザードマップ作成業務委託料 93万5千円

**⑤下水道事業特別会計補正予算(第1号)**

・プレミアム商品券発行事業補助金 3477万3千円

**⑥国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・五戸町クリーンな空間づくり補助金 1230万円

**⑦国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・五戸町ビジネスモデル転換支援事業費補助金 450万円

**⑧国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・大規模飲食事業者支援金 850万円

**⑨国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・学生支援緊急給付金 320万円

医療費助成事業実施要領の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

**③国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・病院事業会計負担金 2億5759万4千円

**④介護保険特別会計補正予算(第1号)**

・ため池ハザードマップ作成業務委託料 93万5千円

**⑤下水道事業特別会計補正予算(第1号)**

・プレミアム商品券発行事業補助金 3477万3千円

**⑥国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・五戸町クリーンな空間づくり補助金 1230万円

**⑦国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・五戸町ビジネスモデル転換支援事業費補助金 450万円

**⑧国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・大規模飲食事業者支援金 850万円

**⑨国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・学生支援緊急給付金 320万円

**③国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・病院事業会計負担金 2億5759万4千円

**④介護保険特別会計補正予算(第1号)**

・ため池ハザードマップ作成業務委託料 93万5千円

**⑤下水道事業特別会計補正予算(第1号)**

・プレミアム商品券発行事業補助金 3477万3千円

**⑥国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・五戸町クリーンな空間づくり補助金 1230万円

医療費助成事業実施要領の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

**③国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・病院事業会計負担金 2億5759万4千円

**④介護保険特別会計補正予算(第1号)**

・ため池ハザードマップ作成業務委託料 93万5千円

**⑤下水道事業特別会計補正予算(第1号)**

・プレミアム商品券発行事業補助金 3477万3千円

**⑥国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・五戸町クリーンな空間づくり補助金 1230万円

**⑦国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・五戸町ビジネスモデル転換支援事業費補助金 450万円

**⑧国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・大規模飲食事業者支援金 850万円

**⑨国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・学生支援緊急給付金 320万円

**③国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・病院事業会計負担金 2億5759万4千円

**④介護保険特別会計補正予算(第1号)**

・ため池ハザードマップ作成業務委託料 93万5千円

**⑤下水道事業特別会計補正予算(第1号)**

・プレミアム商品券発行事業補助金 3477万3千円

**⑥国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・五戸町クリーンな空間づくり補助金 1230万円

医療費助成事業実施要領の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

**③国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・病院事業会計負担金 2億5759万4千円

**④介護保険特別会計補正予算(第1号)**

・ため池ハザードマップ作成業務委託料 93万5千円

**⑤下水道事業特別会計補正予算(第1号)**

・プレミアム商品券発行事業補助金 3477万3千円

**⑥国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・五戸町クリーンな空間づくり補助金 1230万円

**⑦国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・五戸町ビジネスモデル転換支援事業費補助金 450万円

**⑧国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・大規模飲食事業者支援金 850万円

**⑨国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

・学生支援緊急給付金 320万円

**③国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・病院事業会計負担金 2億5759万4千円

**④介護保険特別会計補正予算(第1号)**

・ため池ハザードマップ作成業務委託料 93万5千円

**⑤下水道事業特別会計補正予算(第1号)**

・プレミアム商品券発行事業補助金 3477万3千円

**⑥国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・五戸町クリーンな空間づくり補助金 1230万円



44万6千円

### ⑥ 農業集落排水処理施設 事業特別会計補正予算 (第1号)

・補正額(増額)

165万3千円

・予算総額(補正後)

1億2419万4千円

【主な内容】

・処理施設ポンプ修繕工  
事費

142万3千円

### ⑦ 病院事業会計補正予算 (第2号)

・収益的収入

2億7112万円減の

19億9843万8千円

【主な内容】

・入院・外来患者数減に  
よるもの

・収益的支出

6050万5千円減の

28億3608万6千円

【主な内容】

・入院・外来患者数の減  
による、薬品費及び診  
療材料費の減によるもの

・資本的収入

9755万7千円増の

3億9664万6千円

【主な内容】

企業債、出資金及び新  
型コロナウイルス感染  
症緊急包括支援交付金  
の追加によるもの

・資本的支出

6131万5千円増の

6億730万7千円

【主な内容】

・建設改良費の追加によ  
るもの

審議の結果

全員賛成で可決

認定 2件

① 令和元年度五戸町一般  
会計・特別会計歳入歳  
出決算認定について

② 令和元年度五戸町病院  
事業会計決算認定につ  
いて

(詳細は2〜3P、審  
議内容は4〜5P)

審議の結果

全員賛成で認定

### 町長追加提出案件

人事 2件

① 教育委員会委員の任命

◎ 中山竹千代 氏(64歳)  
なやま たけちよ  
大字上市川字石上



主な職歴等

南部地域農業共済組合  
参事

五戸町立上市川小学校  
PTA会長

② 固定資産評価審査委員  
会委員の選任

◎ 石田 弘文 氏(65歳)  
いしだ ひろふみ  
大字浅水字浅水



主な職歴等

農業

農地利用最適化推進委員

審議の結果

全員賛成で同意

議会提出案件

意見書 2件

① 新型コロナウイルス感  
染症の影響に伴う地方  
財政の急激な悪化に対  
し地方税財源の確保を  
求める意見書について

【内容】

・コロナ禍の影響により、  
今後の地方財政は、か  
つてない厳しい状況に  
なることが予想される  
ため、安定的な財政運  
営に必要な地方税の財  
源を確保・充実するよ  
う国に要望するもの

② 加齢性難聴者の補聴器  
購入に対する公的補助  
制度の創設を求める意  
見書について

【内容】

・補聴器の普及によって、  
高齢者の生活の質の維  
持、うつや認知症の予  
防につながる可能性が

あることから、加齢性  
難聴の補聴器購入に対  
する公的補助制度の創  
設を国に要望するもの

審議の結果

全員賛成で可決

陳情 3件

① 最低賃金の地域間格差  
を解消する全国一律最  
低賃金制度の実現と中  
小企業支援の拡充を求  
める陳情書

【内容】

・総務常任委員会へ付託  
常任委員会の審査結果  
審議未了

② 後期高齢者の医療費窓  
口負担の現状維持を求  
める意見書提出の陳情  
書

【内容】

・民生常任委員会へ付託  
常任委員会の審査結果  
不採択



全会議での審議結果  
全員賛成で採択

常任委員会の審査結果  
採択(願意妥当・意見書  
の伴う議会提出案件)

③ 加齢性難聴者の補聴器  
購入に対する公的補助  
制度の創設を求める意  
見書採択の陳情

・民生常任委員会へ付託  
常任委員会の審査結果  
採択(願意妥当・意見書  
の伴う議会提出案件)

9月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



とよ たか お 豊田 孝夫 議員

### ◆コロナ禍における農家の方々の所得向上を

## 町長 国等の補助制度を活用しながら、 町独自の支援策を検討する

#### 質問①

収穫の秋を迎え、農家の方々は生産に取り組んだ苦勞が報われる時と、安堵している面もあるが、コロナ禍が販売にどのような影響を及ぼすのか不安に駆られているところもある。更に農村の現状は高齢化と担い手不足の問題がある。担い手不足の解消のための施策はどのようなことを考えているか。

#### 答 若宮町長

人・農地プランの策定により、担い手の確保に努めている。また、法人化や集落営農組織の組成にも取り組んでいる。

#### 質問②

集落営農組織の組成に取り組んでいるとのことであるが、その現状は。

#### 答 若宮町長

現在、五戸町には集落営農組織として6団体の組織があり、すべて稲作

の営農組織である。

#### 質問③

その6団体の組織の地区はどこか。また、組成の推進をどのように図るのか。

#### 答 中村農林課長

6団体はすべて倉石地区の組織である。組成の推進については、農事組合長会議等で説明していききたい。

#### 質問④

人手不足を補うため、機械化やIT活用が考えられるが、機器類の購入等の経費に対する補助制度はあるか。

#### 答 若宮町長

国の補助制度で、強い農業・担い手づくり総合支援交付金がある。上限が設けられているが、補助率は10分の3で、機械の耐用年数が5年から20年のものが要件となっている。

#### 質問⑤

コロナ禍の影響で、農産物の販売価格が大幅に下落した場合の行政の対応は。

#### 答 若宮町長

県農業共済組合が行っている収入の減少を補う収入保険制度や、コロナ禍の影響を受けた高収益作物について、次期作に前向きに取り組み生産者に対し国が支援金を交付する事業がある。

町としても、農業関連経費における借入金の利息分を補填する利子助成など今後検討していきたい。



ドローンによる農薬散布

### ◆賑わいのあるまちづくりの施策は

## 町長 国から採択された関係人口創出 拡大事業に取り組み、五戸の ファンづくりにつなげたい

#### 質問①

中央商店街に空き店舗が目立つが、空き家バンクの登録状況は。

#### 答 若宮町長

空き家バンクに登録されている物件数は8件、借り手の登録数は4件である。

#### 質問②

空き店舗活用のために、行政はどのような施策を考えているか。

#### 答 若宮町長

空き店舗の活用は、空き店舗所有者の意向を一番大事にしなければならぬため、施策を展開する場合には、所有者の意向調査等が必要ではないかと考えている。

#### 答 大久保副町長

来年度、国の補助を受けて「立地適正化計画」を作成する予定である。これを有効活用し適正に進めていきたい。

#### 質問③

コロナ禍で地方が見直されている傾向にあるが、この期に移住促進を図る考えは。

#### 答 若宮町長

来年1月に東京で開催される県合同移住フェアに参加する予定である。また、今年度国から採択された、関係人口創出拡大事業モデル事業における、地域や地域の人々と多様に関わる関係人口創出の取り組みや、五戸のファンづくりによって、移住促進につなげたい。



## ◆五戸町としての新型コロナウイルス感染症対策の見解と発信についての考えは

町長 情報は限られているが、なるべく集約して町民の皆様に伝えたい



かわさき しちひろ  
川崎 七洋 議員

### 質問①

国や県などから、町には新型コロナウイルスに対する様々な情報が届いていると思うが、今後の展望はどのように予見されているか。

### 答 若宮町長

町には新聞やテレビなどで報道されている程度の情報しか入ってきていない。コロナ禍の今後について明確なことは申し上げられないが、これまでの事例を踏まえれば、いわゆる「密」の状況で感染するケースが多く、感染者の8割は他者に感染させていないことから、3密を避け、クラスターを抑制することが重要だと考えている。

### 質問②

感染者数は増えているが、死亡者数は減りつつあるという情報がある。コロナを甘く見ていいというわけではないが、首都圏ほどの警戒は必要なのか。

いのではないという考え方もある。五戸町としての見解を発信する考えはないか。

### 答 若宮町長

五戸町は三戸地方保健所の管轄にあり、情報発信は主にそちらが担っている。五戸町独自の発信というのは厳しいが、マスク等で専門家の方々が発信している様々な見方を、ある程度集約してお伝えすることはできるかと思っている。

### 意見

町のホームページにある新型コロナウイルス感染症の情報は、国や県などの情報ページへのリンクがあるだけで、情報は自分で探して自分で解釈する状況になっている。五戸町としての解釈があり、それを発信できると町民の安心につながると思うので、是非対応していただきたい。

## ◆アフターコロナ時代におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略はどのようになる？

### 質問③

今年4月、新型コロナウイルス感染症で世の中が動揺している中、第二期五戸町人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定された。この計画は昨年度に作成されたものであり、現在言われている新しい生活様式、新しいビジネスモデルに対応したものではないと考える。修正、変更するお考えはないか。

### 答 若宮町長

五戸町人口ビジョンと創生総合戦略は、2060年までに人口1万人で下げ止めし、それを維持するとう、中長期的な計画を策定したものである。現在の新型コロナウイルス感染症の状況があっても、変更するものではないと考えている。

### 質問⑤

新しい生活様式が定着したアフターコロナ時代に注目されるであろう産業、分野はどのようなもので、五戸町はどのようになっていくとお考えか。

### 答 若宮町長

2060年を想像してお話すると、田んぼと畑は五戸町に残っていると思う。コロナ禍があり、海外から比較的モノが入りづらくなる時代がここしばらく続くだろうと見ている。そのため、日本の国産の農産物など、食に関わる分野は逆に発展していくと思うし、労働人口減の中でも、IT、人工知能が人に代わり仕事をやる時代でもあるので、人にしかできない仕事を押さえていきたい。この辺の情報を皆様と共有して、住民を不安にさせないよう、取り組んでいく。



鈴木 隆也 議員

◆切谷内小学校と上市川小学校の統合は

教育長 早急に検討・協議する必要がある

質問①

現在、切谷内小学校の3年生と4年生の児童数が、学級編成の基準を下回り、複式学級になっている。

小規模化や複式学級の問題は。

答澤田教育長

集団内の関わりから得られる刺激や情報量が制限され、人間関係が狭くなり固定化しがちになる。互いに切磋琢磨する機会が少ないため、向上心やたくましさを身につける点で課題がある。

複式学級において、一人の教師が二つの学年を指導するため、教師に大きな負担を強いる。

また、十分な指導を行うためには高い指導技術が必要になることから、休職等が生じた場合、代替え支援など体制の構築が困難である。以上の問題点が挙げられる。

補足説明

●複式学級

小学校では2個学年の合計が16人以下(1年生を含む場合は8人以下)の場合に数学年の児童を1学級に編成することができ。 ※学級編成の標準(文部科学省令より抜粋)

現在、切谷内小学校の3年生が6人、4年生が9人、合計15人であるため複式学級の措置を講じている。

質問②

これまで、両校の統合についてどのように検討・協議が行われてきたのか。

答澤田教育長

平成19年に小学校統合について検討する学識者等による委員会を立ち上げ、五戸町立小学校統合計画を策定した。

これを受け、平成25年度に倉石地区、平成26年

度に五戸地区の小学校が統合された。

川内地区については、策定された統合計画で、「両校の統合を目指す」としていたが、地元説明会において一部反対意見があったため、合意形成が必要であると判断し、統合は見送られた。

質問③

出生数から推定すると、切谷内小学校では令和6、7年度頃から複式学級が常態化する懸念がある。両校の統合計画は。

答澤田教育長

児童数減少の中、川内地区で一つの小学校を目指すことは自然な考えであるが、保護者等の合意形成が最も重要である。

前回の統合計画策定から10年以上経過していることから、早急に検討・協議し、慎重に進めたい。



◆町立中学校3校の統合計画は

教育長

財政計画などを勘案し、より良い教育環境を整えていく

質問①

管内3中学校の現在の生徒数と10年後の生徒数の予測は。

答澤田教育長

現在の管内3中学校の生徒数の合計は331人で、10年後の令和12年度には252人となる見込みである。

質問②

教育施設の長寿命化(築80年まで使い続けるための大規模修繕工事など)を図る場合の試算は。

答澤田教育長

築48年の川内中学校で約16億6千万円。築43年の五戸中学校で約35億2千万円。築32年の倉石中学校はそれら2校と比べて健全である。

質問③

教育施設の長寿命化を図るには莫大な費用がかかる。また、生徒数の減少で部活動の運営などに支障をきたしている。

管内3中学校を統合し、より良い教育環境を整備するべきでは。

答澤田教育長

社会状況の変化、生徒数の推移と教育活動への影響、また、現在策定中の町財政計画などの複合的な要素を勘案しながら、時期を見定めた上で検討・協議していく。

答若宮町長

(3校の統合について)一緒に勉強したり、部活動したりすることは、すごく意義のあることだと思うので、教育委員会共々前向きに考えたい。



# 一般質問



かわむら ひろあき  
川村 浩昭 議員

## ◆農業用ため池の管理と防災対策は

町長 現状を把握し対策を講じる

### 質問③

そのため池に対する防災対策は。

### 答 若宮町長

人家や公共施設、主要道路等への浸水被害が想定されるため池に関しては、国の基準により、防災重点ため池に指定し、豪雨や台風など緊急時の迅速な避難行動につなげる対策の一つとして、ため池マップ及びため池ハザードマップを作成し公表している。震度5弱以上の地震及び大雨時には、職員で見回り点検を行い、決壊の恐れがある場合には、下流域の地区に対し避難情報を発令することとしている。

### 質問①

五戸町の人口は、今年2月1日現在、1万6千981人となり、ついに1万6千人台に入った。近隣市町村も人口減少に歯止めがかからない状態のようだが、それなりにいろいろ対策を行っているようである。

### 答 中村農林課長

令和2年6月に国が作成した「ため池管理マニュアル」を基に、町内のため池の現状を把握し、農業水路等の長寿命化や防災・減災対策事業の要件に該当すれば整備等を進めていきたい。

## ◆特定のターゲットに絞った人口減少対策を行っては

町長 五戸町出身者の若者を呼び戻す事業を進める

### 質問②

五戸町に隣接する十和田市では、上十三・十和田湖広域定住自立圏外から十和田市へ転入した方に対し、住宅取得費用の補助を行っている。このような特定のターゲットに絞った施策を考えていないか。

### 答 若宮町長

町民の皆さんに、健康で生き生きと毎日の生活を送っていただくために、1年に1度は健康診断を受診していただき、健康寿命を延ばすことによつて、人口減少に歯止めをかけた。

### 質問①

や、首都圏で開催される移住フェアに参加し、関係人口の創出と移住促進へのきっかけづくりを図っていきたくと考えている。

### 質問②

他市町村では、民間業者を利用して、移住・定住促進の事業を行っている。そのような取り組みは考えていないか。

### 質問③

来年度から新たな住宅団地造成を考えている。その中で、民間業者を利用しながら事業を行う、PFI（※）等の導入も考慮しながら検討している最中である。

### 用語解説

※PFI 民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法のこと。

### 質問②

町で把握している農業用ため池は17か所である。

そのため池の管理は、誰がどのように行っているのか。

ため池の所有者や土地改良区、受益者、集落の方々が周辺の草刈りや点検などを行っている。

### 質問④

農業用ため池の情報を適切に把握し、災害を防ぐことを目的に、令和元年7月に農業用ため池の



ため池管理マニュアル

また、人口減少の大きな原因に、若い世代の町外への流出と、子どもを産む年代の減少がある。町外から人を呼び込むため、子育て支援の充実

コロナ禍の影響により、内定取り消しになるなどして行き先を見失った方、特に五戸町出身の若者を町に呼び戻すために、定住奨励金の支給や起業支援のための奨励金を交付する事業等を計画している。五戸町を見つ



# 川崎七洋議員

生年月日:昭和55年10月17日(40歳)

担当委員会:総務常任委員会

広報常任委員会(委員長)

当選回数:2回

## ●議員インタビュー

町民の皆様は議会議員を身近に感じてもらうことを目的に、毎号1人ずつ議会議員のインタビューを掲載しております。

今回は広報常任委員会の委員長を務める「川崎七洋」議員へのインタビューです。

インタビューア:・

広報常任副委員長 豊田孝夫



Q 川崎議員は2期目の議員となりますが、普段は何のお仕事をして生活されていますか？

### A 川崎七洋議員

町内で川崎商店というお店を経営しています。曾祖父が立ち上げた会社で、現在は父から指導を受けながら一人前になれるよう勉強中です。

Q サラリーマンをやっているが議員もやる、という時期がありましたね。

### A 川崎七洋議員

そもそもUターンしてきたのが、五戸を何とか盛り上げたいという気持ちからだったので、議員として働く道を視野に入れたときに「よし、頑張ってみよう」と思いました。

Q 以前は別のお仕事をされていたと伺っておりますが？

### A 川崎七洋議員

そうですね。2年ほど前までは八戸の北インター工業団地にある(株)サン・コンピュータさんに勤めていました。東京でもITの仕事ですつとやっていた、Uターンして行く際も同じ業種で働きたいと思って就職しました。

その時は会社を辞めなければいけないと思っていたのですが、社長が「公民権の行使をするだけだ、辞める必要はない」と慰留してくださいまして、おかげで最先端のITに触れながら議員をやれるという、とても恵まれた環境で頑張ることができました。

Q 本日はよろしくお願ひします。

### A 川崎七洋議員

よろしくお願ひします。



# 議員インタビュー



保育園へ子どもをお迎えに。いつも一緒に遊んでから帰ります。

Q 理解者が周囲にいるというのには本当に支えになりますよね。

A ご家族も理解者の1人だと思えますが、家族構成を教えてくださいいただけますか？

A 川崎七洋 議員

実家から少し離れた所に自宅がありまして、そこで妻と子ども2人と暮らしています。上の子はもうじき3歳、下の子は1歳と数か月です。

Q 可愛いさかりですね。目に入れても痛くないくらいなのでは？

A 川崎七洋 議員

そうですね。でもやっぱり子育ては大変ですね。可愛いだけでは到底やっていけない。世の中の常識が変わって、親の働き方も変わった中で、子育てを家庭に任せることには限界があるんだと、しみじみ感じます。そういう意味で子育て世帯が議員になるというのは考えている以上の価値があるのかなと、そう思います。

Q 子どもは町の未来ですからね。そうだとします。息抜きも大

事だと思えますが、何かご趣味などありませんか？

A 川崎七洋 議員

元職がシステムエンジニアなので、パソコン関係の機械に触っているのが好きですね。用途に合わせて何台か持っていたり、最近ではVR（バーチャルリアリティ、仮想現実）の機械も入手したのですが、これで面白いことができないう計画です。

Q ITに強いのは頼もしい限りです。ご家庭の外ではどういった活動をされていますか？

A 川崎七洋 議員

五戸町商工会青年部で副部長をやらせていただいています。青年部は町の盛り上げ役を買って出る組織なので、「フォトログディング」というイベントを提案したところ、



フォトログ大会の集合写真。首都圏で流行のイベントを県南で初開催しました。

皆が受け入れてくれて開催が実現したということがあります。

Q 「フォトログ」ですね。確かに良いイベントだったと思います。

A 川崎七洋 議員

実は、「フォトログ」は議会の県外視察研修で富山県に行ったときに、町おこしとして効果があるイベントだと学んできたものです。私が「絶対に五戸でやってみせる」と決意したイベントでもあ

気、とりわけ若者の熱気を取り戻したいと思っています。

少子高齢化と言われていますが、五戸町ならまだ何とかなる。若者はまだいるし、元気がある人もまだまだいる。熱くなるものだって五戸町にはちゃんとある。これ以上減ると回復が不可能になってしまうので、今が本当に大事。若い人にスポットを当て、五戸町で生き生きと活動してもらって、全力で楽しんでいる姿を、全国に見せつけてほしい。

しかし、そのためには若い人に余裕が無さすぎるのが大問題。若い人の生活に時間の余裕を持たせられる施策を展開できるように、頑張りたいです。

ありがとうございます。今後のご活躍を期待しています。

(了)

A 川崎七洋 議員

そうですね。町の活

## 新人議員研修会

令和2年8月27日、青森市(青森県労働福祉会館)において、マスクの着用などの新型コロナウイルス感染拡大防止対策がとられた上で、新人議員研修会が開催された。五戸町議会議員からは、令和元年6月の補欠選挙で初当選した柏田匡智議員と、令和2年2月の一般選挙で初当選した和田智也議員の2人が参加した。

### 講演 「議員として活躍するために」

研修会は全2部構成で行われ、第1部は「効果的な一般質問」と題し、一般質問の準備、当日の進行及び会議終了後のアフターケアについての説明を受けた。

第2部は「議会制度と政務活動」と題し、議会の目的や議員としての発言のルール、議員の諸活動についての説明があった。

**講師** 新潟県立大学国際地域学部  
国際地域学科准教授  
田口一博氏



## 編集後記

連日の暑さが過ぎ去り、世間では徐々に経済活動が再開し、各地で賑わいを取り戻しています。

春の緊急事態宣言後、リモートによる人と人との繋がりがや、ネット注文による消費行動が増えていく一方で、消費者トラブルなど多くの課題が見受けられます。

また、ある経済調査では、日本の経済活動がコロナ禍以前に戻るのには、2022年以降になるのではないかとという見解が出ているそうです。

まだまだ油断できない状況ではありますが、議会でも積極的に新しい様式・提案を取り入れ、町経済の発展に取り組んでいきます。

委員 和田智也

## 議会を傍聴してみませんか

12月定例会は12月上旬開会予定です。  
詳しくは議会事務局まで

**TEL 62-2111 (代表)**

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」  
五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和3年1月発行予定です。

発行責任者  
議長 三浦 專治郎  
令和2年10月23日発行

委員 長	川崎 七洋
副委員長	豊田 孝夫
委員	和田 智也
委員	柏田 匡智
委員	鈴木 隆也
委員	大久保 和夫

## 広報常任委員会